大　使　館　情　報

2022 年 7 月

【目次】

１．ブラジル・マクロ経済情勢
（１）経済情勢
（２）経済政策等
（３）金融政策
（４）為替市場
（５）株式市場

２．ブラジル政治情勢
［内政］
（１）リベイロ前教育大臣の逮捕
（２）アマゾナス州西部における英国人記者殺害事件
（３）ボルソナーロ政権の支持率
（４）2022 年大統領選に関する世論調査
（５）ペルナンブーコ州の災害への対応
［外交］
（１）伯パラグアイ外相電話会談
（２）伯ドミニカ共和国外相電話会談
（３）ボルソナーロ大統領とボーグ・マルタ共和国外相との会談
（４）ボルソナーロ大統領による米国訪問
（５）コロンビア次期大統領選出に際する伯政府の祝意
（６）ボルソナーロ大統領の BRICS 首脳会合（オンライン）への参加
（７）伯露電話首脳会談

３．トピックス
（１）林大使のトカンチンス州公式訪問（6 月 1～3 日）
（２）「日本人移住の日」におけるブラジリア市内での清掃活動とライトアップ（6 月 18 日）
（３）第 10 回ブラジリア日本祭りの実施（6 月 24 日～26 日）

４．大使館からのお知らせ
（１）在伯公館 SNS リンク一覧
（２）外務省海外安全ホームページ
（３）ブラジル渡航情報

１．ブラジル・マクロ経済情勢

（１）経済情勢（6 月発表の経済指標）

（ア）4 月の鉱工業生産指数は前月比+0.1%、前年同月比▲0.5%となった。

（イ）4 月の小売売上高は前月比+0.9%、前年同月比+4.5%となった。

（ウ）5 月の拡大消費者物価指数（IPCA）は前月比+0.47%となり、前月（+1.06%）から上昇幅は 0.59%ポイント縮小。直近 12 か月累計は+11.73%となり、前月（同+12.13%）から上昇幅は 0.40%ポイント縮小した。

（エ）失業率（3～5 月）は 9.8%となり、3 か月前（2021 年 12 月～2022 年 2 月）の移動平均 11.2%から 1.4%ポイント低下。また前年同期比（2021 年 3～5 月）の 14.7%から 4.9%ポイント低下した。

（オ）伯中央銀行が週次で発表しているエコノミスト等への調査（Focus 調査）については、定期的な更新はなかったが 6 月 3 日時点の数値のみ公表。GDP 成長率予測については、2022 年は+1.20%で、2023 年は+0.76%となった。インフレ率については、2022 年は 8.89%で、2023 年は 4.39%となった。

（２）経済政策等

6 月 23 日、大統領は、燃料、エネルギー、交通、通信といった必要不可欠な財やサービスに対する ICMS（州税、商品流通サービス税）の税率の上限を 17%～18%とする補足法を裁可。これに伴いサンパウロ州をはじめとする一部の州が税率の引下げを実施。

（３）金融政策

6 月 14 日及び 15 日に開催された伯中央銀行金融政策委員会（Copom）において、政策金利である Selic 金利を 50bp 引き上げて 13.25%とすることが決定された。政策金利の引上げは 2021 年 3 月以降 11 会合連続。次回会合は 8 月 2 日及び 3 日に開催予定。

（４）為替市場（レートは伯中銀の公表値から算出）

（ア）6 月の為替市場は 4.78～5.24 レアル/ドルで推移。

（イ）月の前半は 4.78～5.12 レアル／ドルで推移。米国の金融政策を巡る動向等を材料に、概ね下落傾向で推移した。

（ウ）月の後半は 5.13～5.24 レアル／ドルで推移。世界経済の見通しの他、ブラジルでの財政懸念や石油会社を巡る動向等を材料に概ね下落傾向で推移した。

（５）株式市場

（ア）6 月の株式市場は 98,080～112,393 ポイントで推移。

（イ）月の前半は 102,063～112,393 ポイントで推移。米国の金融政策を巡る動向

やブラジルの財政懸念等を材料に、概ね下落傾向で推移した。
（ウ）月の後半は 98,080～100,764 で推移。世界経済の見通しや資源価格の動向等を材料に、概ね横ばいで推移した。

２．ブラジル政治情勢（6 月の出来事）

【内政】

（１）リベイロ前教育大臣の逮捕

6 月 22 日、教育省の汚職事件について捜査を行っていた連邦警察は、ミルトン・リベイロ前教育大臣を、在任中の汚職への関与及び収賄の容疑にて逮捕した。また、教育省の捜索を行うとともに、福音派の牧師２名を逮捕した（リベイロ前大臣は、翌 23 日に釈放）。

（２）アマゾナス州西部における英国人記者殺害事件

6 月 5 日、アマゾナス州西部ジャバリ渓谷で取材中の英国人記者ドン・フィリップス氏と先住民専門家（国立先住民財団（FUNAI）職員ブルーノ・ペレイラ氏が行方不明となり、15 日、連邦警察は同 2 名の死亡を確認する発表を行った。

（３）ボルソナーロ政権の支持率

6 月 23 日、Datafolha 社が公表した 6 月 22 日から 23 日にかけて、2556 人を対象に実施した世論調査の結果によれば、ボルソナーロ政権の支持率は、26%（前回調査:25%）、不支持率は 47%（前回調査：48%）となっている。

（４）2022 年大統領選に関する世論調査

6 月 23 日、Datafolha 社が公表した 6 月 22 日から 23 日にかけて、2556 人を対象に実施した世論調査の結果によれば、第 1 回戦投票で投票したい人物はルーラ元大統領(PT)が 47%（前回 5 月調査：48%）、ボルソナーロ大統領(PL)が 28%（前回調査:27%）となっている。

（５）ペルナンブーコ州の災害への対応

ペルナンブーコ州の災害対応について、5 月 28 日から 6 月 15 日までの実績を国防省が公表したところ、伯軍は、住民約 5000 人の避難支援、飲料水約 10 万リットルの給水支援、食料（バスケット）約 3000 個の配布を行った他、数十カ所の道路啓開や捜索を行った。本災害対応では常時約 600 人の軍人が活動中。

【外交】

（１）伯パラグアイ外相電話会談

6月1日、フランサ外相は、アリオラ・パラグアイ外相と電話会談を行い、統合橋梁及びパラグアイ川に架かる橋梁の建設といった二国間の諸テーマ等について協議し、アルド・デ・カンポス・コスタ氏の国連人権委員会への立候補へのパラグアイの支援を依頼した。

（２）伯ドミニカ共和国外相電話会談

6月1日、フランサ外相は、アルバレス・ドミニカ共和国外相と電話会談を行い、経済協力等の二国間関係のテーマについて協議し、アルド・コスタ氏の国連人権委員会への立候補へのドミニカ共和国の支援を依頼した。

（３）ボルソナーロ大統領とボーグ・マルタ共和国外相との会談

6月4日、ボルソナーロ大統領は、訪伯したボーグ・マルタ共和国外相と会談し、同会談にはフランサ外相が同席した。ボルソナーロ大統領は、ラテンアメリカ地域初となるマルタ共和国大使館の開設を歓迎し、EU・メルコスールFTA支援につき、同共和国政府に対し謝意を述べた。

（４）ボルソナーロ大統領による米国訪問

6月8日～11日、ボルソナーロ大統領は米国を訪問し、第9回米州サミットに参加するとともに、9日には、バイデン米大統領との初めての首脳会談を行った。ボルソナーロ大統領は首脳会談冒頭にて、アマゾン地域を含む環境問題、民主主義や伯の選挙、ウクライナ紛争、二国間関係の強化について述べた。また、米州サミットでは、10日の第2セッションにおいて、食料安全保障・環境保全・エネルギー転換等に関するスピーチを実施した。その他、10日には、伯コロンビア首脳会談、伯エクアドル首脳会談、伯ドミニカ共和国首脳会談を実施し、11日在オーランド副総領事館の開所式へ参加した。

（５）コロンビア次期大統領選出に際する伯政府の祝意

6月21日、伯外務省は、ペトロ次期コロンビア大統領選出に際し、プレスリリースを通じて祝意を述べ、同次期大統領が責務を果たすことを祈念し、伯コロンビアの二国間関係の継続・深化に関する約束を再確認する旨表明した。

（６）ボルソナーロ大統領のBRICS首脳会合（オンライン）への参加

6月23日、中国議長の下、BRICS首脳会議がオンラインにて実施され、ボルソナーロ大統領が参加した。同大統領は、スピーチの中で、国際機関の改革に向けたBRICSの結束を強調し、また、BRICSは国際場裏の安定や繁栄のみならず、雇

用・賃金の創出、国民の福祉にも貢献すべきであると述べた。

（７）伯露電話首脳会談

6 月 27 日、伯露電話首脳会談が行われ、露政府の公式発表によると露が伯の農業分野に対する肥料の滞りない供給を保証した旨、またボルソナーロ大統領の発言によると同会談の主な議題は食料及びエネルギー安全保障であった旨伯国内主要メディアが報じた。

３．トピックス

（１）林大使のトカンチンス州公式訪問（6 月 1～3 日）

6 月 1～3 日に、林大使はトカンチンス州への公式訪問を実施。1 日は、カンチンス州政府庁舎（アラグアイア宮）にて、儀仗兵による歓迎式典を受けた後、ジャイロ・マリアノ官房長、ファビオ・ヴァス教育局長等と懇談。その後、トカンチンス州立学校 2 校訪問（Escola Estadual Cívico-Militar Vila União、Escola Estadual Professora Elizângela Glória Cardoso）し、学校の教育活動を視察するとともに、日本の学校との交流を提案した。

州政府幹部と

トカンチンス州立学校への訪問

2 日には、トカンチンス日伯文化協会を訪問し、多くの方々から歓迎を受けた。同協会で柔道場やゲートボール場を視察したほか、記念の植樹を行った。また、シンチア・ヒベイロ・パルマス市長と面会し、これまでの日パルマスの協力関係、教育分野における協力について意見交換を実施。また、パルマス市立学校 2 校を訪問し、学校の教育活動を視察するとともに、日本の学校との交流を提案。また、夜には伯大豆生産者協会（APROSOJA）代表者と同州の大豆生産の状況や生産にかかるインフラ等について懇談の機会をもった。

日伯文化協会柔道場を視察

日伯文化協会ゲートボール場視察

パルマス市立幼稚園への訪問

シンチア・ヒベイロ・パルマス市長を表敬

3 日には、大豆由来のバイオディーゼル、大豆油及び家畜用飼料の生産現場である GRANOL 工場を視察したのち、トカンチンス在住の元国費留学生と日本への留学を喚起するための取組について意見交換を行った。また、トカンチンス連邦大学を訪問し、ボボレット学長と日本語学科設置の構想や日本の大学との研究交流に関して意見交換を実施。懇談の合間をぬって、当地のテレビ局からも訪問の意義等についてインタビューを受けた（インタビューの模様は以下のリンク先から）。

GRANOL 社工場視察

トカンチンス連邦大学ボヴォラト学長との懇談

TV Record によるインタビュー

SBT によるインタビュー

（２）「日本人移住の日」におけるブラジリア市内での清掃活動とライトアップ（6月 18 日）

「日本人移住の日」である 6 月 18 日、林大使は、当館とブラジリア国際青年会議所（JCI Brasilia）が共催した清掃プロジェクト「Limpa Brasilia」に参加。今回がブラジリアでは初めての開催となった。日常生活の中で公衆衛生や環境に配慮する姿勢を育むことがこの活動の目的であり、林大使からも、「日本人移住の日は、移民を受け入れてくれた国への恩返しをするとともに、日系ブラジル人コミュニティでも培われているこの価値観を広めるための絶好の機会」と説明。ブラジルの日系社会にとって歴史的・文化的に重要な場所である寺院を出発点に、街頭での清掃を実施した。

また、同日の夜、「日本人移住の日」を記念して、国立図書館及びカテドラルが、日本の国旗（日の丸）の色である赤色にライトアップされた。

（３）第 10 回ブラジリア日本祭りの実施（6 月 24 日～26 日）

6 月 24 日～26 日、当館はブラジル中西部日伯文化協会連合会（FEANBRA）と共催で「第 10 回ブラジリア日本祭り」を実施。当館は観光 PR や国費留学生相談ブース、フォトスポット、食品サンプルの展示、和食・日本酒ワークショップを行い、盛況となった。また、25 日には林大使が開会挨拶をした他、墨絵のデモンストレーションを披露した。

4. 大使館からのお知らせ

（１）在伯公館 SNS リンク一覧

在ブラジル大使館での文化イベントを含め最新情報等を随時更新中（以下リンク先をご参照されたい）。

在ブラジル大使館　：facebook　instagram　YouTube
在ベレン領事事務所：facebook
在マナウス総領事館：facebook
在レシフェ総領事館：facebook　instagram
在リオデジャネイロ総領事館：facebook　instagram　YouTube
在サンパウロ総領事館：facebook　YouTube
在クリチバ総領事館　：facebook　YouTube

（２）外務省　海外安全ホームページ

（ア）各国の危険情報や安全対策等海外赴任、出張及び旅行をする際の留意点を公開している。
http://www.anzen.mofa.go.jp/

（イ）世界各国の在外邦人に対して最低限必要な安全対策を周知することを目的にした「ゴルゴ１３の中堅・中小企業向け海外安全対策マニュアル」を公開している。2021 年３月、新型コロナウイルス感染症の感染症とテロといった複合的なリスクへの対処の必要性を伝えるため、番外編として「感染症流行下の安全対策」を追加する増補版を公開した。
https://www.anzen.mofa.go.jp/anzen_info/golgo13xgaimusho.html

（ウ）各在伯公館が「在外邦人向け安全の手引き　ブラジル」を作成し公開している。
https://www.anzen.mofa.go.jp/manual/brazil_manual.html

（エ）各公館で四半期毎に「海外安全対策情報」を公開している。在伯大使館の情報（令和３年度第４四半期）は以下のリンク先から。
https://www.br.emb-japan.go.jp/itpr_ja/kaigai_anzen_taisaku.html

（３）ブラジル渡航情報

（ア）危険情報
最新更新日：2022 年 4 月 5 日
http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionspothazardinfo_259.html
以下の地域が「レベル１：十分注意してください。」となっている。
・ブラジリア連邦区

・サンパウロ州大サンパウロ圏及びカンピーナス市
・リオデジャネイロ州大リオ圏
・エスピリトサント州大ビトリア圏
・アマゾナス州大マナウス圏
・ロライマ州北部
・パラー州大ベレン圏
・ペルナンブーコ州大レシフェ圏
・バイーア州大サルバドール圏
・セアラ州大フォルタレーザ圏
・パラナ州大クリチバ圏
・リオ・グランデ・ド・スル州ポルトアレグレ市

（イ）安全対策基礎データ
最新更新日：2020 年 8 月 6 日
https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure_259.html
　主要各州、都市毎の犯罪発生状況、防犯対策及び滞在時の留意事項等に加え、査証、出入国審査及び新型コロナウイルス関連情報や大使館、総領事館の緊急連絡先を公開している。

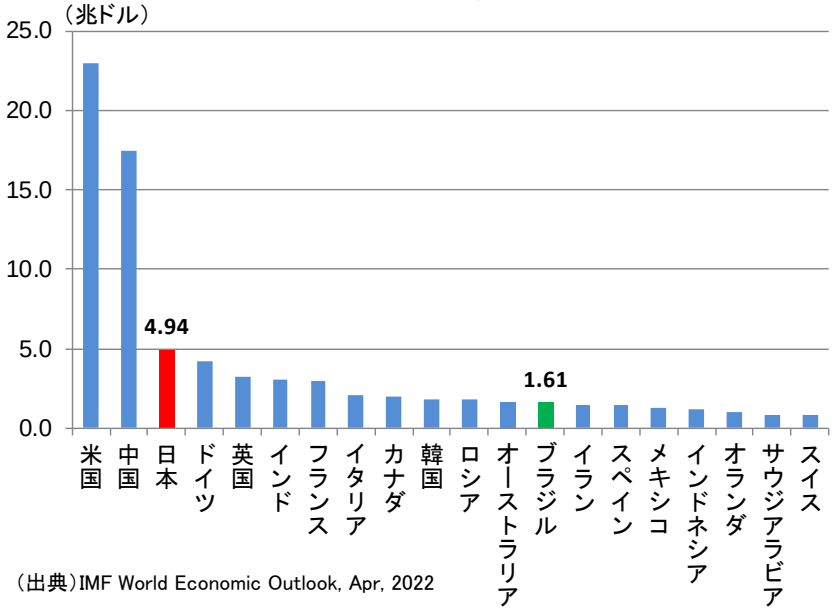
（ウ）テロ・誘拐情勢
最新更新日：2019 年 6 月 10 日
https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcterror_259.html

ブラジル経済・二国間経済関係概観

Ⅰ．経済構造

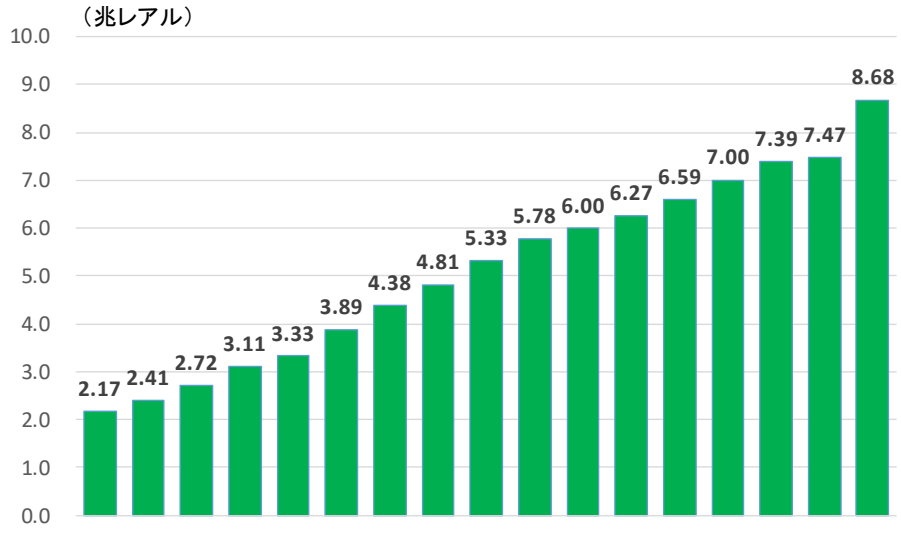
1. 人口約2億1,331万人、面積約851万km²（2021年）
2. 世界第13位の経済規模（名目GDP約１兆6,081億ドル（2021年）：日本の約33%）。一人当たりGDP（約7,564ドル（2021年））は、日本の約19%。
3. 世界有数の農業・資源国であるが、産業別国内総生産（GDP）額では第三次産業（サービス業）が高いウェイトを占めている。
4. GDPを需要項目別でみると、家計消費や総固定資本形成（投資）といった内需が成長に寄与している。

名目GDP各国比較



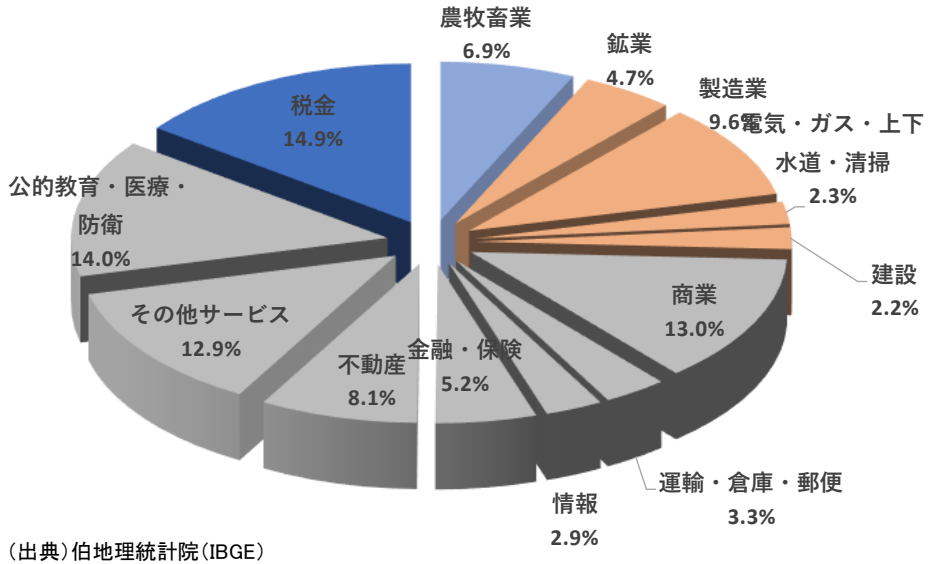
（出典）IMF World Economic Outlook, Apr, 2022

名目GDPの推移



（出典）伯地理統計院（IBGE）

名目GDPの産業別構成比（2021年）

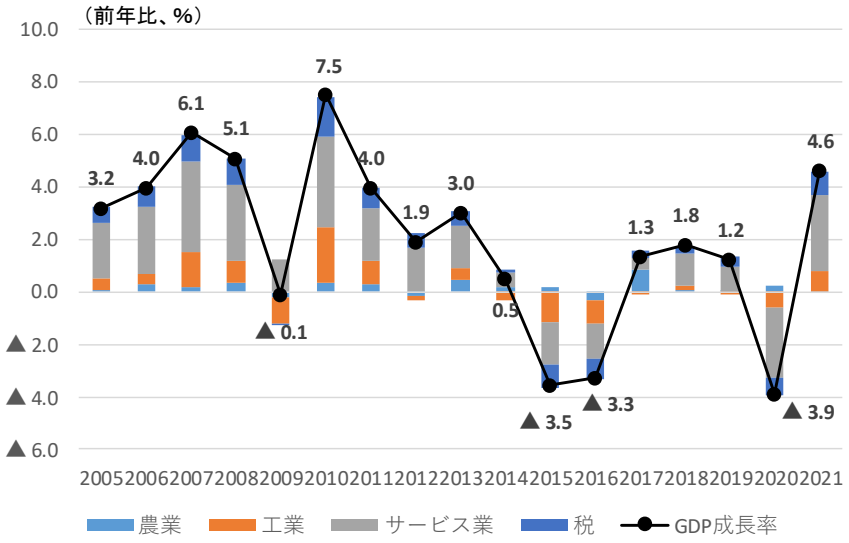


（出典）伯地理統計院（IBGE）

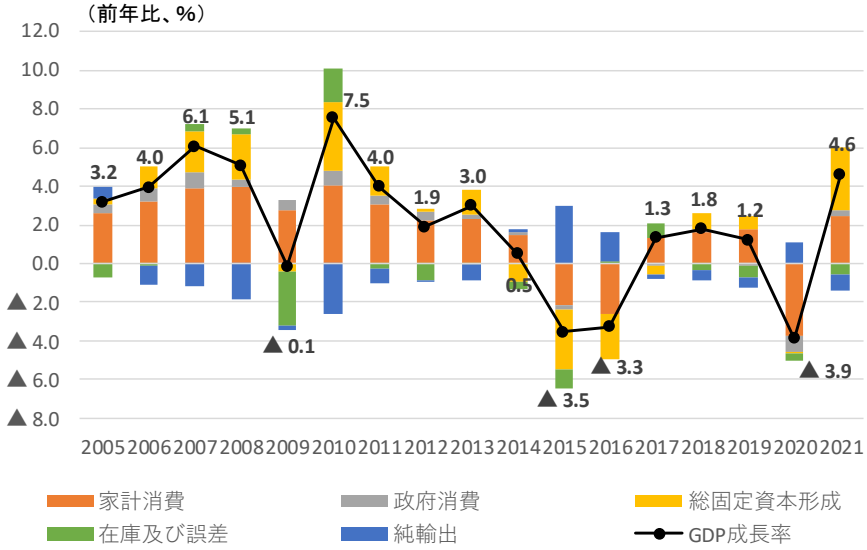
II. 経済の現状

ブラジル地理統計院（IBGE）が2022年6月に発表した2022年第1四半期の実質GDP成長率は、前期比+1.0%（3四半期連続のプラス）、前年同期比+1.7%（5四半期連続のプラス）となった。

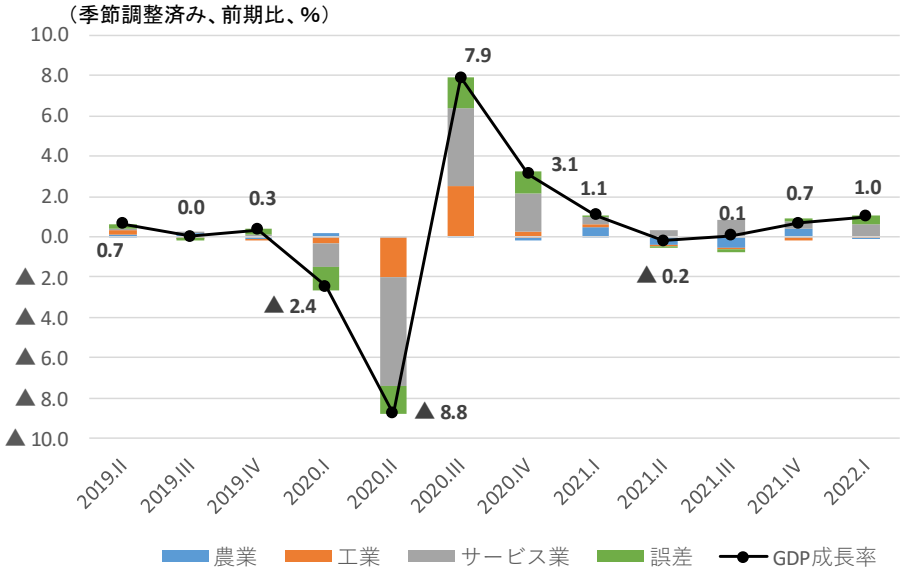
実質GDP成長率と産業別寄与度の推移（暦年）



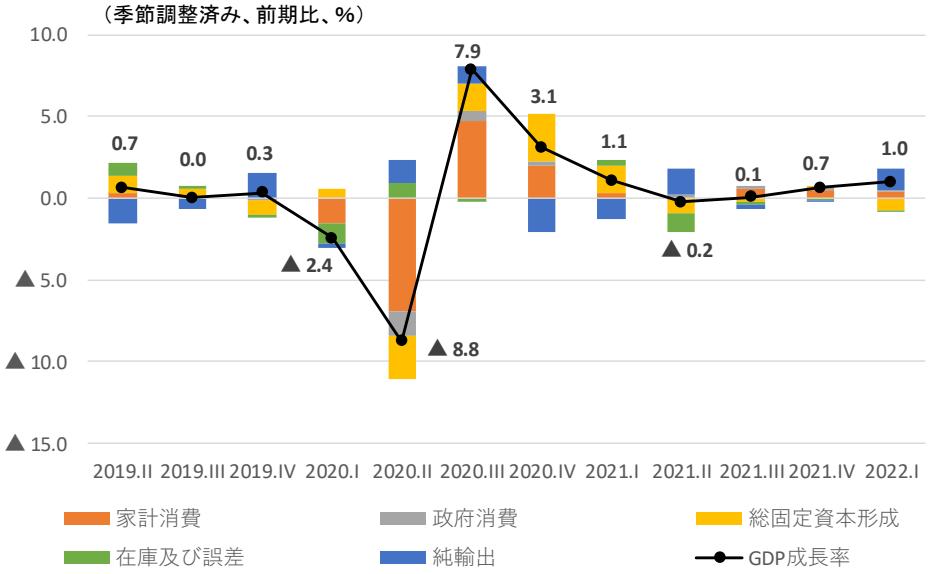
実質GDP成長率と需要項目別寄与度の推移（暦年）



実質GDP成長率と産業別寄与度の推移（四半期）

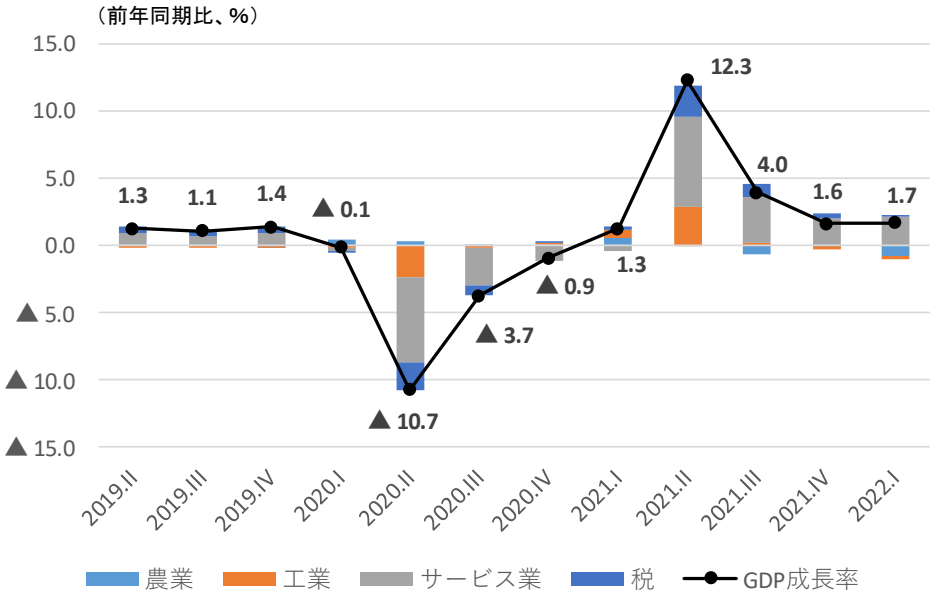


実質GDP成長率と需要項目別寄与度の推移（四半期）

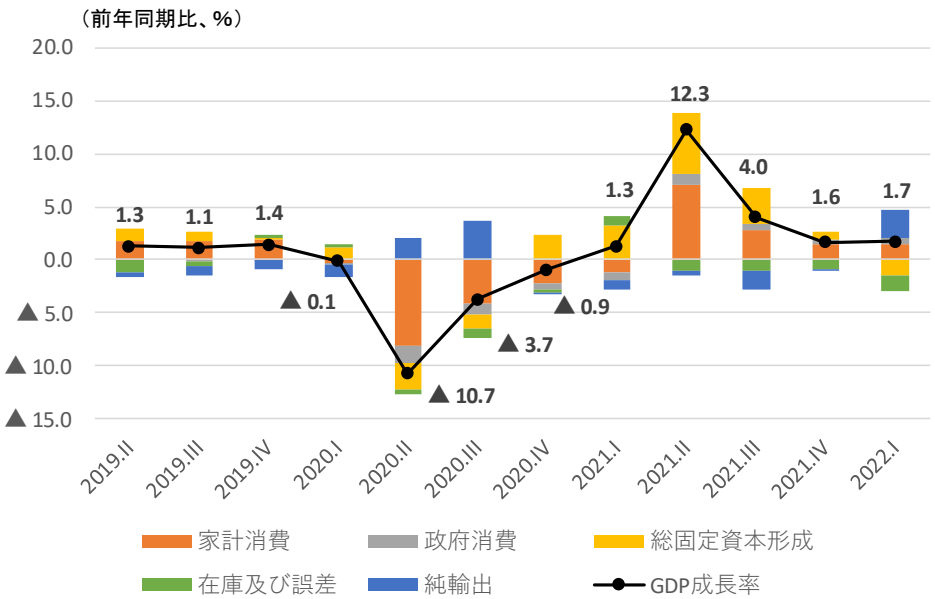


※寄与度はIBGE公表値から当館にて試算、「誤差」、「在庫及び誤差」はGDP全体から各項目を除したもの。（出典）伯地理統計院（IBGE）

実質GDP成長率と産業別寄与度の推移（四半期）



実質GDP成長率と需要項目別寄与度の推移（四半期）



※寄与度はIBGE公表値から当館にて試算、「在庫及び誤差」はGDP全体から各項目を除したもの。（出典）伯地理統計院（IBGE）

≪各機関によるGDP成長率見通し≫

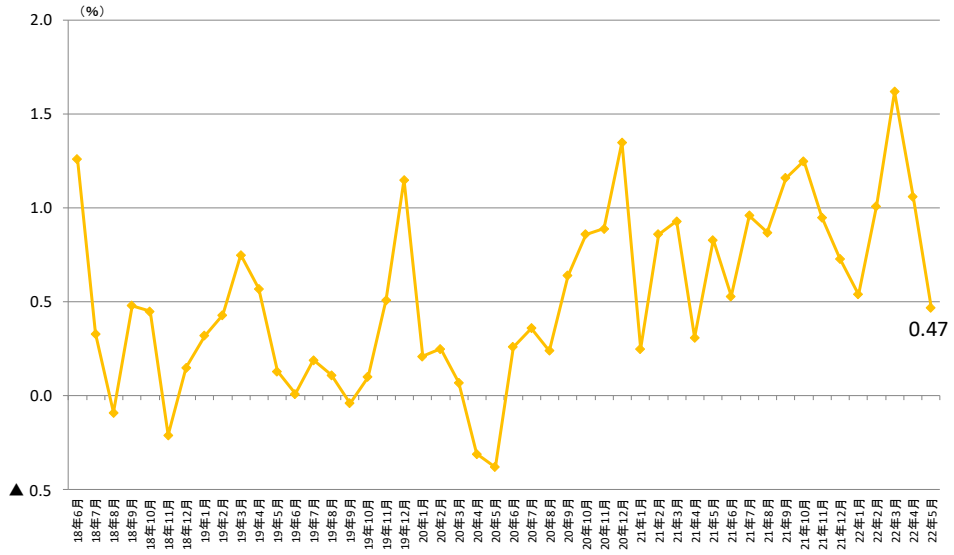
	2022	2023
IMF（2022年4月）	+0.8%	+1.4%
伯経済省（2022年5月）	+1.5%	2.5%
伯中銀（2022年6月）	+1.7%	–
伯中銀Focus（2021年6月3日）	+1.2%	+0.76%

※伯中銀Focusは上記公表時以降、更新されていない。

物価の動向

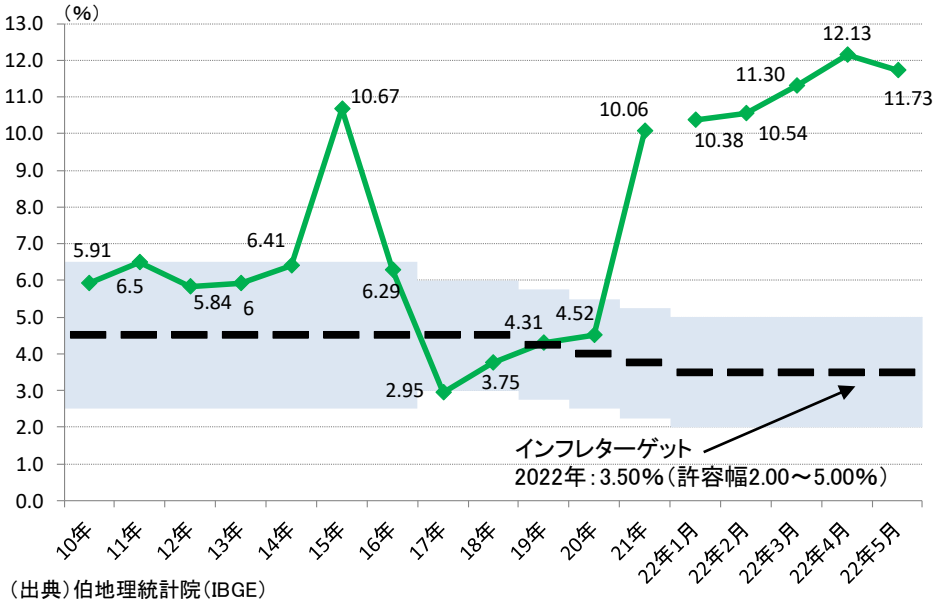
5月の拡大消費者物価指数（IPCA）は前月比+0.47%、直近12か月累計では11.73%となった。

拡大消費者物価指数（IPCA）上昇率の推移（各月）



（出典）伯地理統計院（IBGE）

拡大消費者物価指数（IPCA）上昇率の推移（12か月累計）

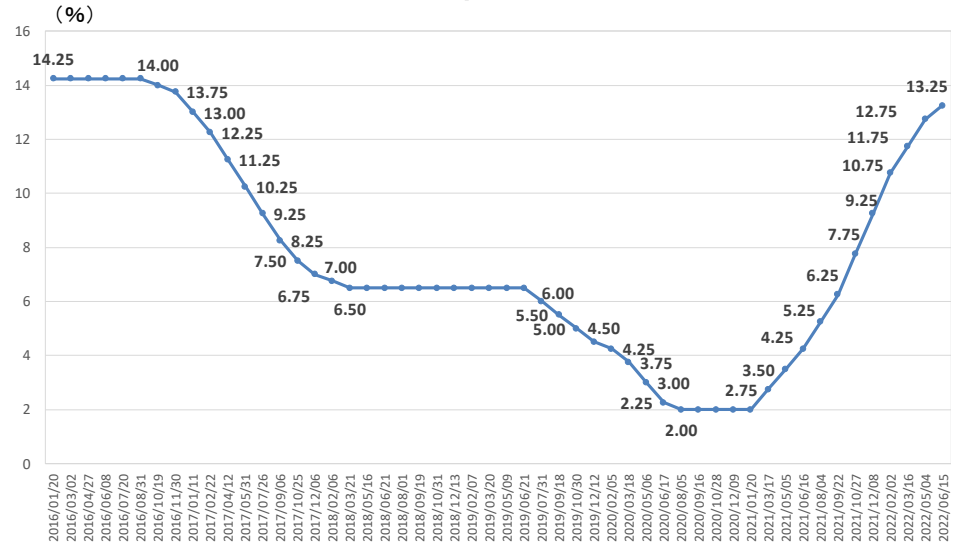


（出典）伯地理統計院（IBGE）

政策金利

6月14日及び15日に開催された伯中央銀行金融政策委員会（Copom）において、政策金利であるSelic金利を50bp引き上げて13.25%とすることが決定された。政策金利の引上げは2021年3月以降11会合連続。次回会合は8月2日及び3日に開催予定。

政策金利の推移（2016年～）

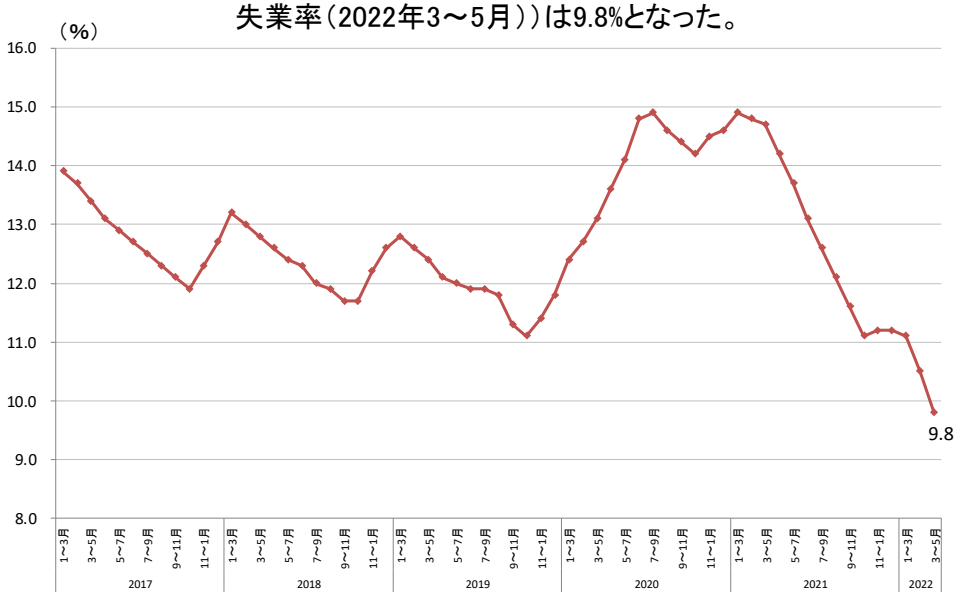


（出典）伯中央銀行

労働市場、消費、生産、財政収支の動向

失業率の推移（3か月移動平均）

失業率（2022年3～5月））は9.8%となった。



（出典）伯地理統計院（IBGE）

小売売上高指数の推移（月次）

小売売上高（4月）は前月比+0.9%、前年同月比+4.5%となった。

（出典）伯地理統計院（IBGE）

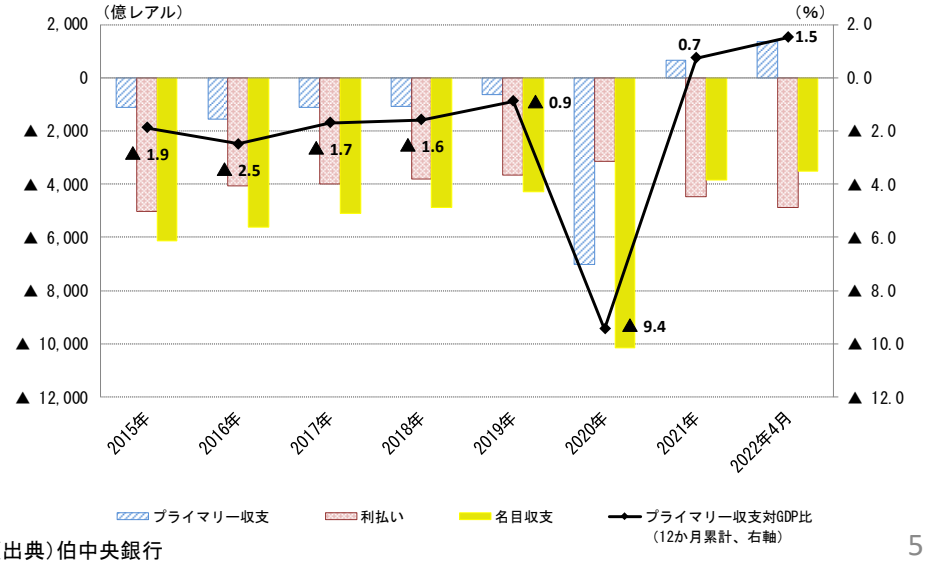
鉱工業生産指数の推移（月次）

鉱工業生産（4月）は前月比+0.1%、前年同月比▲0.5%となった。

（出典）伯地理統計院（IBGE）

財政収支の推移 ※数値の更新無し

公的部門の2022年4月のプライマリーバランスは+1,374億レアルの黒字、利払いは▲4,894億レアル、名目収支は▲3,520億レアルとなった。



（出典）伯中央銀行

国際収支の動向 ※数値の更新無し

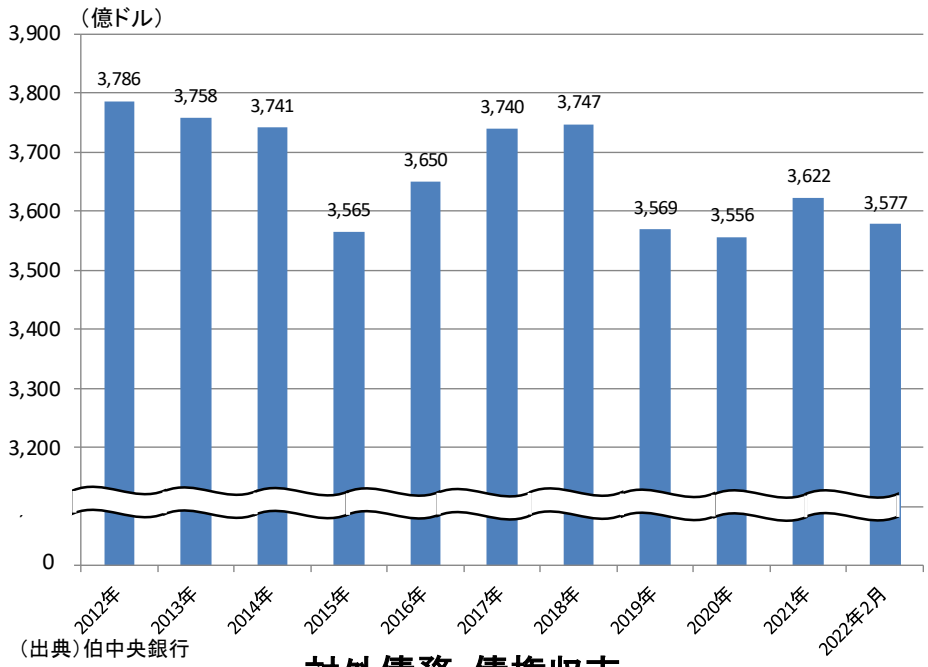
国際収支

（億ドル）

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年2月
経常収支	▲ 220	▲ 515	▲ 650	▲ 245	▲ 279	▲ 105
貿易収支	573	434	265	324	364	21
サービス収支	▲ 383	▲ 360	▲ 355	▲ 209	▲ 171	▲ 33
第1次所得収支	▲ 432	▲ 588	▲ 573	▲ 383	▲ 505	▲ 98
第2次所得収支	21	▲ 0	12	23	33	5
資本移転収支	4	4	4	41	2	0
金融収支	▲ 171	▲ 523	▲ 644	▲ 125	▲ 337	▲ 116
直接投資	▲ 475	▲ 761	▲ 464	▲ 413	▲ 273	▲ 121
対外直接投資	213	20	228	▲ 35	192	44
対内直接投資	689	782	692	378	464	166
証券投資	177	69	192	129	▲ 57	▲ 67
金融派生商品	7	28	17	54	▲ 10	▲ 6
その他投資	69	113	▲ 128	247	▲ 159	67

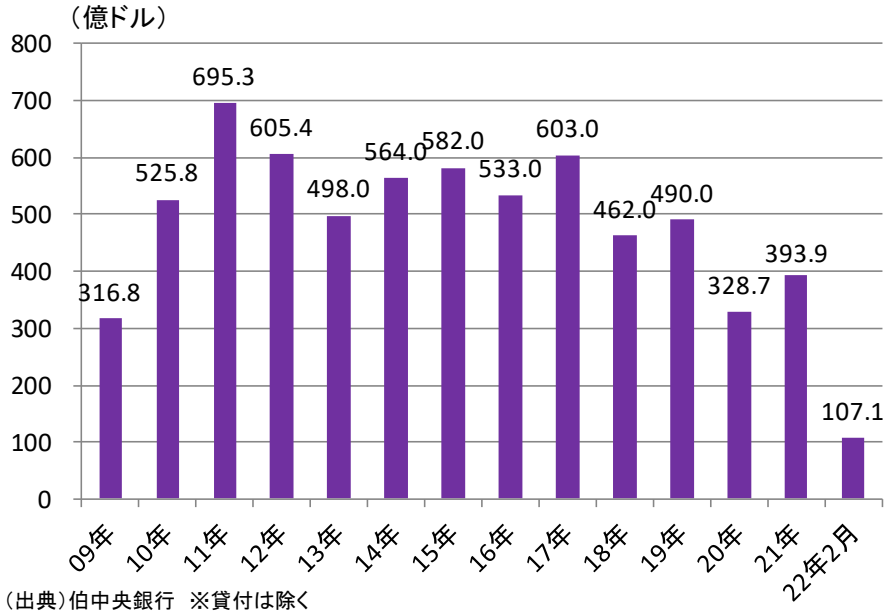
（出典）伯中央銀行

外貨準備高



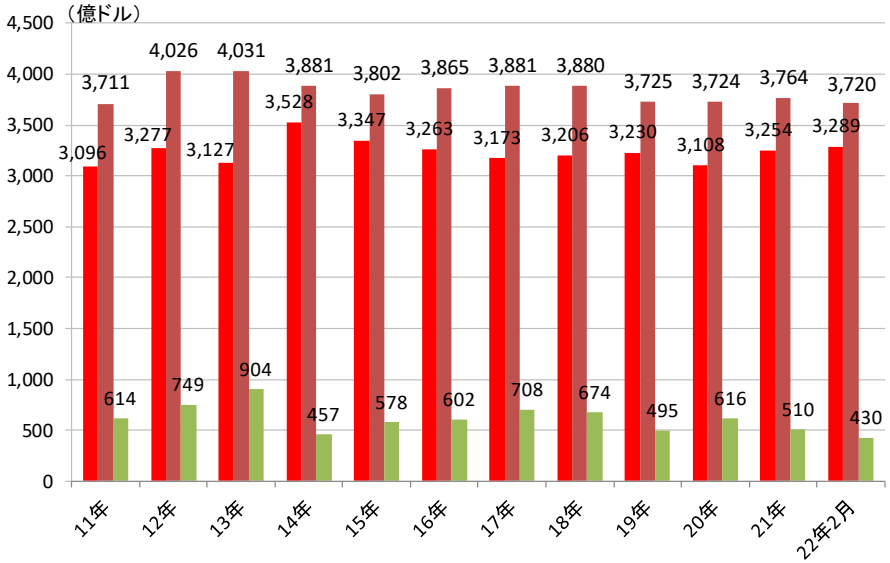
（出典）伯中央銀行

外国直接投資（資本参加分）流入額



（出典）伯中央銀行 ※貸付は除く

対外債務・債権収支



（出典）伯中央銀行

為替・株価の推移

6月の為替市場は4.78～5.24レアル/ドルで推移。

月の前半は4.78～5.12レアル／ドルで推移。米国の金融政策を巡る動向等を材料に、概ね下落傾向で推移した。

月の後半は5.13～5.24レアル／ドルで推移。世界経済の見通しやブラジルでの財政懸念を巡る動向等を材料に概ね下落傾向で推移した。

為替の推移（対米ドル）

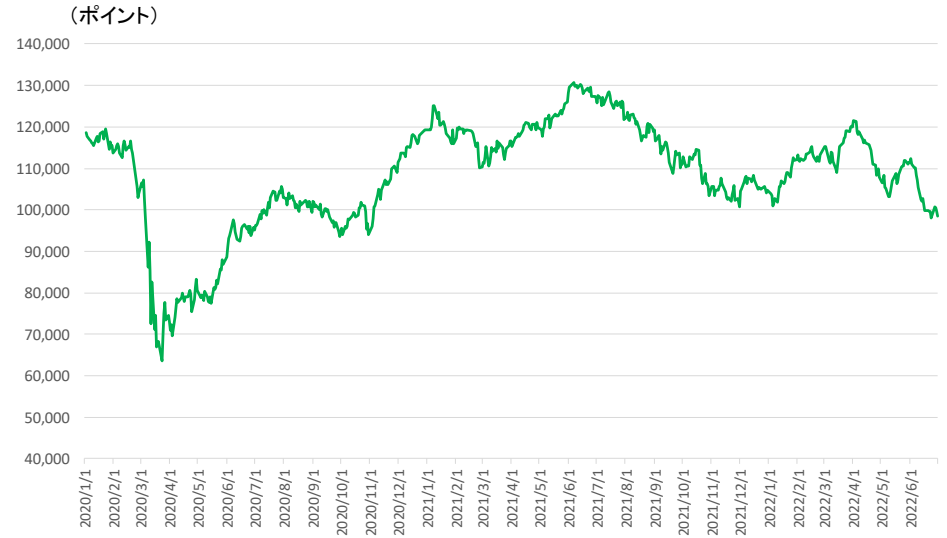
（出典）伯中央銀行

6月の株式市場は98,080～112,393ポイントで推移。

月の前半は102,063～112,393ポイントで推移。米国の金融政策やブラジルの財政懸念を巡る動向等を材料に、概ね下落傾向で推移した。

月の後半は98,080～100,764で推移。世界経済の見通しや資源価格の動向等を材料に、概ね横ばいで推移した。

株価指数（Ibovespa）の推移



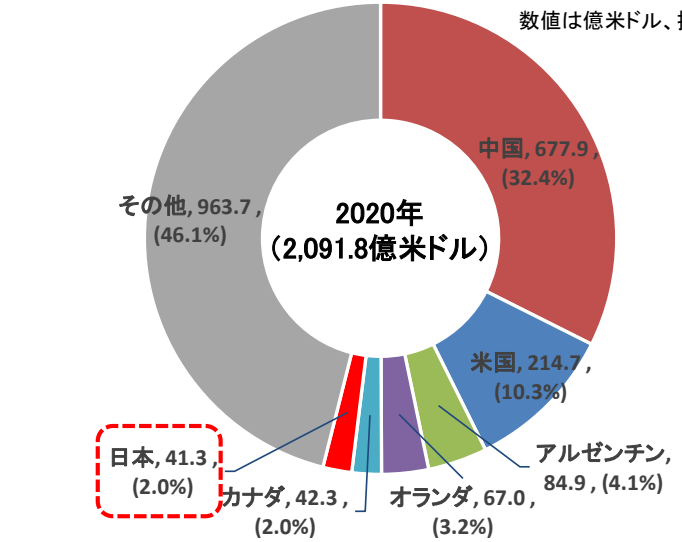
（出典）B3

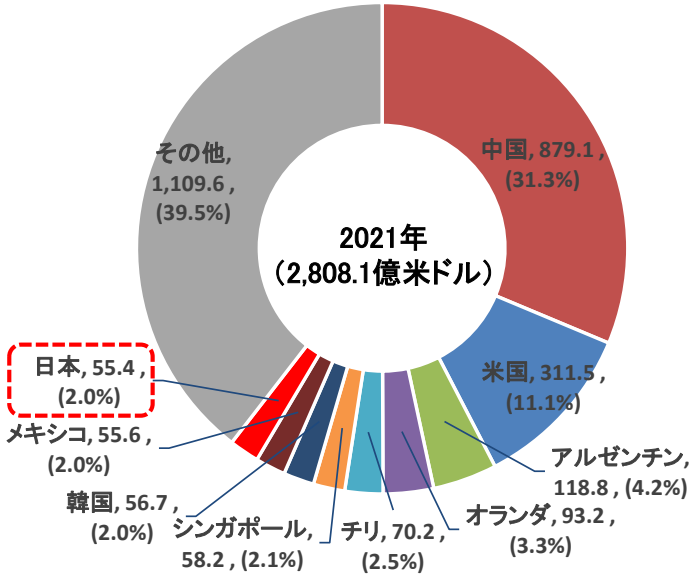
Ⅲ. 貿易動向

ブラジルの貿易は、輸出、輸入ともに中国、米国、アルゼンチンが上位に占めている。2021年においては、日本は貿易相手国として輸出で9位、輸入で8位となっている。

輸出額と構成比（国別）

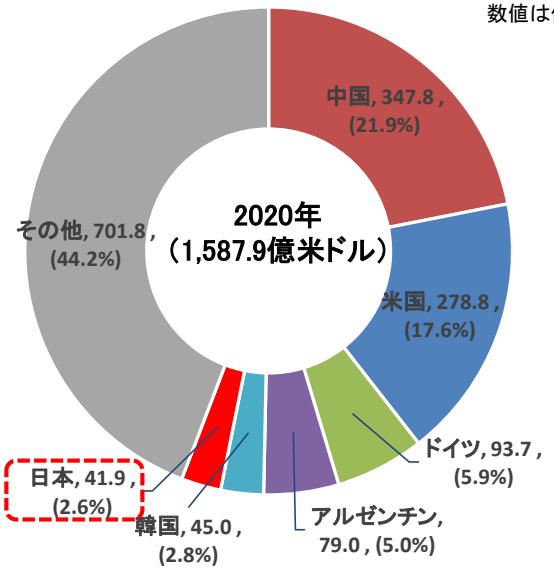
数値は億米ドル、括弧内は構成比

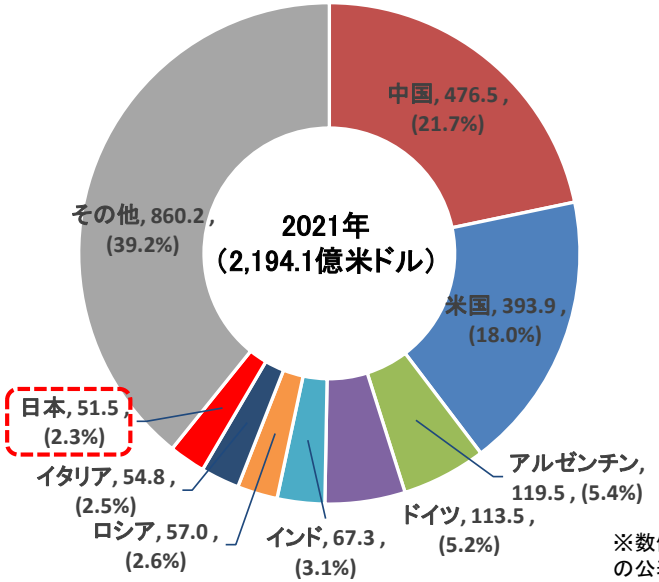




輸入額と構成比（国別）

数値は億米ドル、括弧内は構成比

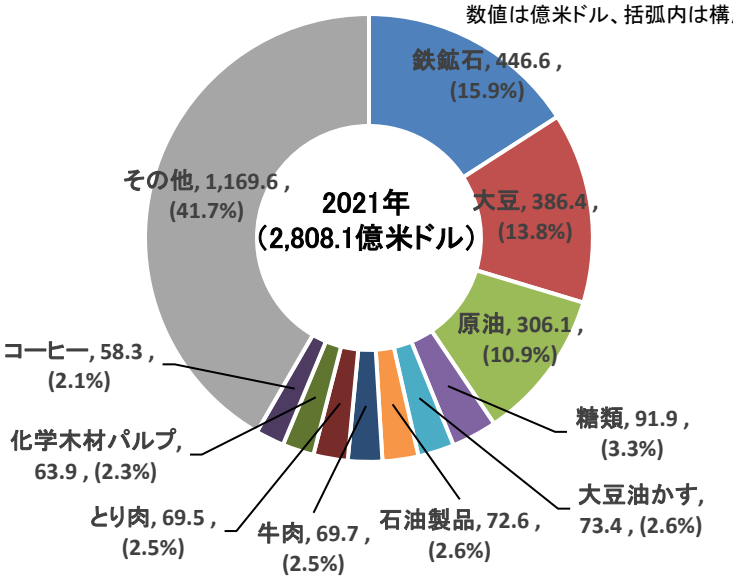




（出典）伯経済省
※数値は2022年2月時点の公表値から算出

主要輸出品目は資源（鉄鋼石、原油等）、食品（大豆、肉類、糖類等）。主要輸入品目は石油製品、自動車部分品を中心に、電気機器や医療用品など幅広い品目にわたっている。

ブラジルの主要輸出品目と主要相手国



【鉄鋼石】

		億米ドル	構成比（%）
	全　体	446.6	100.0
①	中国	288.4	64.6
②	マレーシア	28.6	6.4
③	バーレーン	17.9	4.0
④	日本	17.9	4.0
⑤	オマーン	13.0	2.9

【大豆】

		億米ドル	構成比（%）
	全　体	386.4	100.0
①	中国	272.1	70.4
②	スペイン	16.7	4.3
③	タイ	12.9	3.3
④	オランダ	12.0	3.1
⑤	トルコ	10.1	2.6

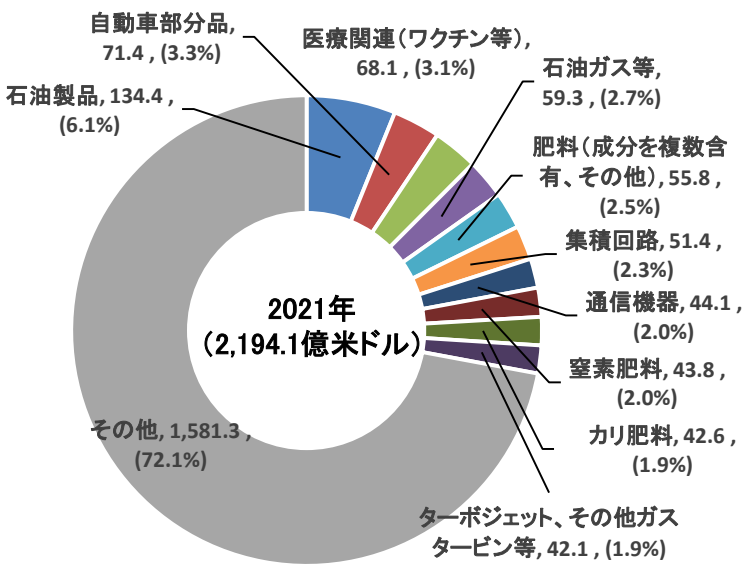
【原油】

		億米ドル	構成比（%）
	全　体	306.1	100.0
①	中国	142.5	46.6
②	米国	30.8	10.1
③	インド	22.4	7.3
④	チリ	19.6	6.4
⑤	ポルトガル	16.3	5.3

【糖類】

		億米ドル	構成比（%）
	全　体	91.9	100.0
①	中国	14.1	15.4
②	アルジェリア	7.8	8.4
③	ナイジェリア	6.0	6.5
④	バングラデシュ	5.8	6.3
⑤	カナダ	4.4	4.8

ブラジルの主要輸入品目と主要相手国



【石油製品】

		億米ドル	構成比（%）
	合　計	134.4	100.0
①	米国	74.4	55.4
②	インド	13.5	10.1
③	UAE	7.3	5.4
④	オランダ	6.4	4.7
⑤	スペイン	4.5	3.4

【自動車部分品】

		億米ドル	構成比（%）
	合　計	71.4	100.0
①	日本	9.3	13.1
②	中国	8.8	12.3
③	ドイツ	8.5	11.8
④	メキシコ	6.3	8.8
⑤	米国	5.8	8.1

医療用品（ワクチン等）

		億米ドル	構成比（%）
	合　計	68.1	100.0
①	米国	23.7	34.9
②	中国	12.9	19.0
③	ベルギー	7.8	11.4
④	スイス	5.3	7.8
⑤	ドイツ	4.1	6.0

【石油ガス等】

		億米ドル	構成比（%）
	合　計	59.3	100.0
①	米国	41.8	70.5
②	ボリビア	12.1	20.3
③	アルゼンチン	2.8	4.7
④	トリニダードトバゴ	1.5	2.5
⑤	アンゴラ	0.5	0.8

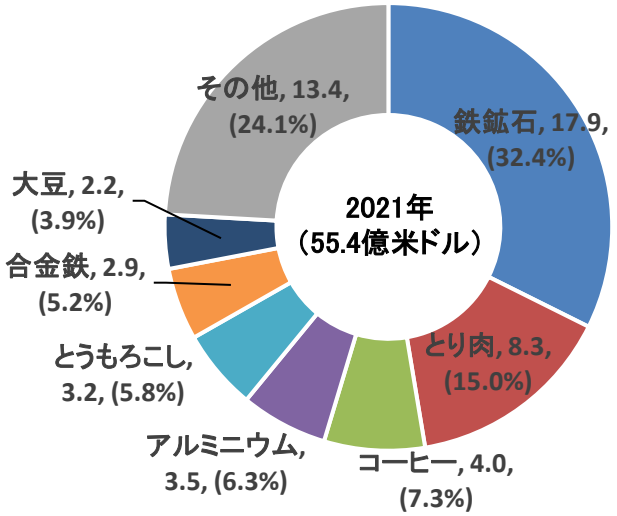
（出典）伯経済省　※数値は2022年2月時点の公表値から算出

対日貿易

対日貿易においては、主要輸出品目は資源（鉄鉱石、アルミニウム等）や食品（肉類、コーヒー、トウモロコシ、大豆等）、主要輸入品目は自動車関連が中心となっている。

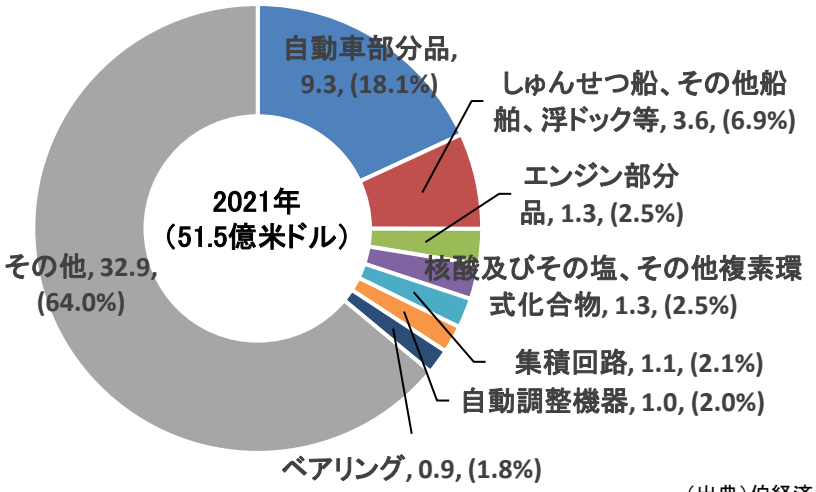
ブラジルの対日本主要輸出品目

数値は億米ドル、括弧内は構成比



ブラジルの対日本主要輸入品目

数値は億米ドル、括弧内は構成比



（出典）伯経済省
※数値は2022年2月時点の公表値から算出

ブラジルの対日本主要輸出品目の日本側から見たブラジルの構成比（2021年）

【鉄鉱石】

	億円	構成比（%）
総計	19,656.0	100.0
① オーストラリア	10,854.7	55.2
② ブラジル	5,592.5	28.5
③ カナダ	1,385.4	7.0
④ 南アフリカ共和国	715.1	3.6
⑤ アメリカ合衆国	275.9	1.4

【とり肉】

	億円	構成比（%）
総計	1,365.9	100.0
① ブラジル	889.5	65.1
② タイ	407.9	29.9
③ アメリカ合衆国	32.6	2.4
④ ハンガリー	15.9	1.2
⑤ フランス	10.6	0.8

【コーヒー】

	億円	構成比（%）
総計	1,447.3	100.0
① ブラジル	446.9	30.9
② コロンビア	228.8	15.8
③ ベトナム	200.7	13.9
④ グアテマラ	101.1	7.0
⑤ エチオピア	79.3	5.5

【アルミニウム】

	億円	構成比（%）
総計	6,836.6	100.0
① ロシア	1,357.5	19.9
② オーストラリア	1,120.3	16.4
③ アラブ首長国連邦	1,088.7	15.9
④ ニュージーランド	425.2	6.2
⑤ ブラジル	382.8	5.6

【とうもろこし】

	億円	構成比（%）
総計	5,199.6	100.0
① アメリカ合衆国	3,779.6	72.7
② ブラジル	738.9	14.2
③ アルゼンチン	416.2	8.0
④ 南アフリカ共和国	242.6	4.7
⑤ フランス	8.8	0.2

【合金鉄】

	億円	構成比（%）
総計	3,134.2	100.0
① カザフスタン	657.4	21.0
② 中華人民共和国	453.4	14.5
③ ロシア	396.0	12.6
④ ブラジル	339.6	10.8
⑤ 南アフリカ共和国	307.7	9.8

【大豆】

	億円	構成比（%）
総計	2276.9	100.0
① アメリカ合衆国	1702.9	74.8
② ブラジル	320.2	14.1
③ カナダ	226.0	9.9
④ 中華人民共和国	26.2	1.1
⑤ ロシア	1.5	0.1

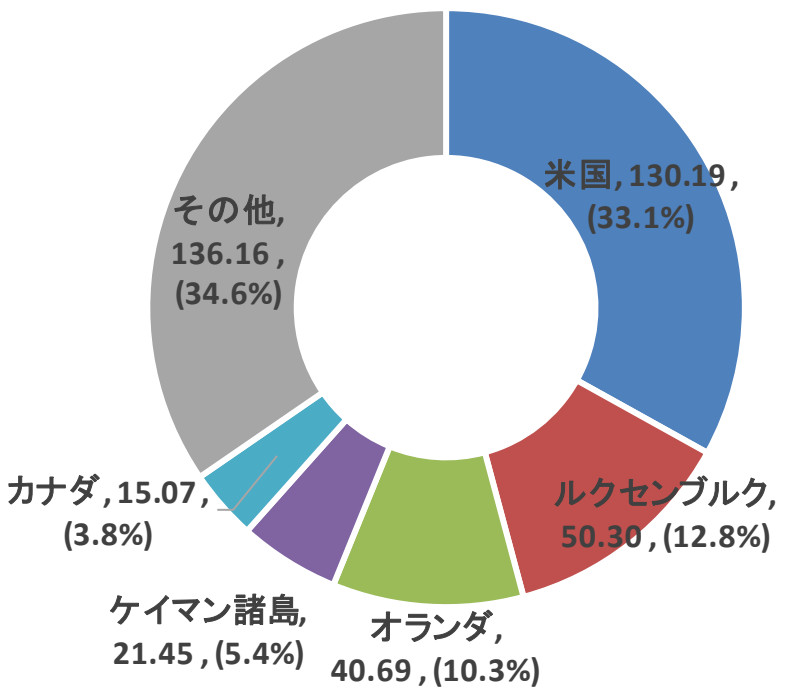
※日伯ともにHS番号4桁の数値。鉄鉱石2601、とうもろこし1005、とり肉0207、コーヒー0901、アルミニウム7601、合金鉄（フェロアロイ）7202、大豆1201

（出典）財務省（日本）
※数値は2022年1月末時点の公表値から算出

Ⅳ. 日伯投資

対ブラジル直接投資（資本参加分）の国別構成比
総額393.86億ドル（2021年）

数値は億米ドル、括弧内は構成比

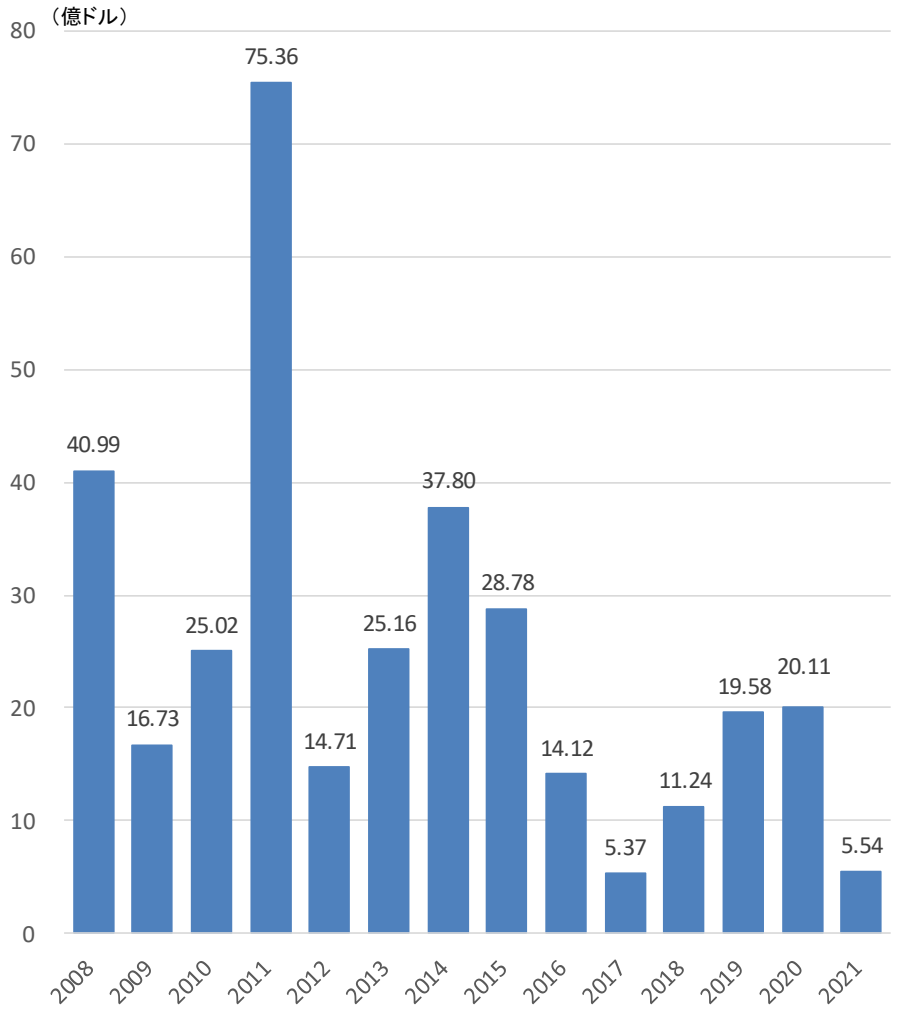


（出典）伯中央銀行

2021年の日本の直接投資額（資本参加分）は5.54億ドルで構成比は1.41%と、17番目の規模。

※ 中国：2.35億ドル（0.44%）。但し、第三国経由の投資額が含まれていないため、実際よりも少ない数値となっている。

日本の対ブラジル直接投資（資本参加分）の推移



（出典）伯中央銀行